

平成31年1月25日
新潟市記者発表資料

新潟市総合ハザードマップの全戸配布について

近年、全国で災害が多発していることから日ごろより、災害別に地域での危険箇所を把握していただくとともに迅速かつ適切な避難ができるよう、洪水、津波などの災害想定を冊子にまとめた総合ハザードマップを全世帯配布します。

○新潟市総合ハザードマップの特徴

- ・洪水、津波、土砂災害、浸水、ため池の災害想定を1つの冊子にとりまとめ
- ・洪水、津波は最大クラスの災害を想定し作成
- ・災害の特徴や脅威がわかるように災害別の学習面を掲載
- ・より地域の特徴がわかるように中学校区単位で作成（市内56中学校区）

○配布部数 33万9000部

○配布時期 平成31年1月末～ 順次配布

○配布方法 自治会・町内会の協力による全戸配布

○ハザードマップを活用した取組み

①家庭での取組み

- ・ご自宅や職場等の災害危険箇所や近隣の避難所を確認
- ・避難場所、避難経路を複数の手段で検討
- ・新潟市からの避難情報の伝達方法を確認

②地域での取組み

- ・地域の特性を踏まえ、避難場所や避難経路を検討し避難訓練等に活用
- ・要支援者への支援の検討に活用

お問い合わせ先

ハザードマップについて 新潟市危機管理防災局防災課 担当：畠中
電話025-226-1143(直通)

【指定避難所・指定緊急避難場所一覧表】

No	指定避難所	所在地	阿賀野川	早出川	信濃川	小阿賀野・能代川	栗ノ木上流・鳥屋野湯	通船川・栗ノ木下流(新栗ノ木川)	土砂災害
1	北部総合コミュニティセンター	附船町1丁目4385番地1	—	—	2階以上	—	—	—	—
2	日和山小学校	柴町3丁目5930番地2	—	—	全階可	—	—	—	—
3	新潟柳都中学校	柴町3丁目4213番地	—	—	全階可	—	—	—	○
4	二葉コミュニティハウス	古町13番町5148番地2	—	—	全階可	—	—	—	○
5	旧豊照小学校体育館	豊照町2518番地1	—	—	—	—	—	—	—
6	新潟小学校	東大畑通1番町679番地	—	—	全階可	—	—	—	—
7	寄居中学校	宮所通2番町592番地12	—	—	全階可	—	—	—	○
8	寄居コミュニティハウス	西大畑町617番地	—	—	全階可	—	—	—	○
9	教育相談センター	西大畑町458番地1	—	—	全階可	—	—	—	○
10	クロスバルにいがた	礎町通3ノ町2086番地	—	—	2階以上	—	—	—	—
11	白山小学校	川端町1丁目1番地	—	—	全階可	—	—	—	—
12	白山コミュニティハウス	本町通1番町168番地2	—	—	全階可	—	—	—	—
13	鏡淵小学校	白山浦1丁目207番地3	—	—	全階可	—	—	—	—
14	白新中学校	川岸町2丁目4番地	—	—	全階可	—	—	—	—
15	新潟中央高等学校	学校町通2番町5317番地1	—	—	—	—	—	—	—
16	新潟商業高等学校	白山浦2丁目68番2号	—	—	—	—	—	—	—
17	白新コミュニティハウス	白山浦2丁目180番地3	—	—	—	—	—	—	—
18	関屋小学校	関屋下川原町2丁目664番地	—	—	—	—	—	—	—
19	新潟高等学校	関屋下川原町2丁目635番地	—	—	—	—	—	—	—
20	浜浦小学校	浜浦町1丁目1番地	—	—	—	—	—	—	—
21	関屋中学校	浜浦町2丁目1番地	—	—	—	—	—	—	—
22	関屋地区公民館	関屋昭和町3丁目148番地1	—	—	—	—	—	—	—
23	有明台小学校	有明台4番1号	—	—	—	—	—	—	—
24	沼垂小学校	鏡ヶ岡5番5号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
25	万代高等学校	沼垂東6丁目8番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
26	明鏡高等学校	沼垂東6丁目11番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
27	笹口小学校	笹口2番47号	2階以上	—	2階以上	2階以上	2階以上	—	—
28	万代長嶺小学校	東万代町4番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
29	宮浦中学校	万代5丁目6番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
30	万代市民会館	東万代町9番地1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
31	南万代小学校	幸西4丁目1番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
32	総合福祉会館	八千代1丁目3番地1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
33	紫竹山小学校	紫竹山1丁目12番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
34	北越高等学校(体育館)	米山5丁目12番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
35	駅南コミュニティセンター	米山4丁目12番20号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
36	上所小学校	近江3丁目2番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
37	新潟南高等学校	上所1丁目3番1号	2階以上	—	2階以上	全階可	全階可	—	—
38	女池小学校	女池6丁目4番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
39	鳥屋野中学校	女池4丁目31番地1	2階以上	—	2階以上	2階以上	2階以上	—	—
40	新潟江南高等学校	女池南3丁目6番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
41	上山小学校	女池上山1丁目1番28号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
42	上山中学校	女池上山5丁目1番13号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
43	鳥屋野小学校	美咲町2丁目4番地7	全階可	—	全階可	全階可	全階可	—	—
44	上山コミュニティハウス	綱川原2丁目1番15号	2階以上	—	2階以上	2階以上	2階以上	—	—
45	山瀨小学校	弁天橋通3丁目3番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
46	桜が丘小学校	姥ヶ山6丁目1番21号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
47	山瀨中学校	山二ツ1番地1	2階以上	全階可	2階以上	2階以上	全階可	—	—
48	高志中等教育学校	高志1丁目15番1号	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—
49	食育・花育センター	清五郎401番地	2階以上	—	2階以上	2階以上	2階以上	—	—
50	山湖会館	長湯827番地	2階以上	—	2階以上	2階以上	全階可	—	—

No	一時避難場所	所在地	阿賀野川	早出川	信濃川	小阿賀野・能代川	栗ノ木上流・鳥屋野湯	通船川・栗ノ木下流(新栗ノ木川)	土砂災害
A	日の出公園	日の出1丁目7番1号	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
B	万代公園	東万代町9番3号	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
C	東公園	明石1丁目4番1号	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
D	桜が丘公園	京王2丁目15番7号	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
E	上山公園	愛宕3丁目5番地	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
F	上所島公園	上所2丁目2番32号	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
G	太陽公園	笹口1丁目16番地	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
H	笹口公園	笹口3丁目6番地1	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
I	愛宕公園	愛宕1丁目5番地	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
J	鳥屋野交通公園	女池南3丁目6番3号	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
K	水戸教公園	雲雀町18番地	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
L	西大畑公園	西大畑町5191番地	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
M	白山公園	一番堀通町1番地2	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
N	信濃公園	信濃町19番1号	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
O	金鉢山公園	関屋金鉢山町90番地1	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
P	下川原公園	関屋下川原町1丁目3番地3	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
Q	関分記念公園	関屋2番地44	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—
R	新潟スタジアム	清五郎68番地1	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用不可	利用可	—
S	旧二葉中グラウンド	二葉町2丁目5932番地	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—

No	広域避難場所	所在地	阿賀野川	早出川	信濃川	小阿賀野・能代川	栗ノ木上流・鳥屋野湯	通船川・栗ノ木下流(新栗ノ木川)	土砂災害
T	鳥屋野運動公園	女池南3丁目6番4号	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用不可	利用可	—
U	鳥屋野湯公園	鐘木・清五郎・女池	利用不可	利用可	利用不可	利用不可	利用可	利用可	—
V	西海岸公園	西船見町5932番地626	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	利用可	—

【一時避難場所】地域の方々が集まって避難するため、地震発生直後に一時的に集合する場所。
 【広域避難場所】地震発生直後に、火災の延焼などで一時避難場所が危険になった場合に避難する、広い面積を有する場所。

表の見方
【洪水】 全階可——浸水範囲外の避難所であり、1階から全ての階に避難可能。
 ○階以上——○階の下まで浸水する避難所であり、○階以上に避難可能。
 ————当該河川洪水時において開設しない。
 利用不可——指定避難所において全階浸水、又は家屋倒壊等氾濫想定区域内等にあり、利用不可。
 利用可——一時・広域避難場所において浸水範囲内にあり、利用不可。
 利用可——一時・広域避難場所において浸水範囲外にあり、利用可。

【土砂】 ○——中央区において土砂災害時に開設する避難所。
 ————土砂災害警戒区域等の外にあり、土砂災害時において開設しない避難所。

※表の階数表記は、想定される浸水深と指定避難所の建物階数の高さと比較したものです。
 ※避難情報が発令された時に必ず開設することを示すものではありません。



新潟市総合ハザードマップ

中央区 | 新潟柳都中学校区

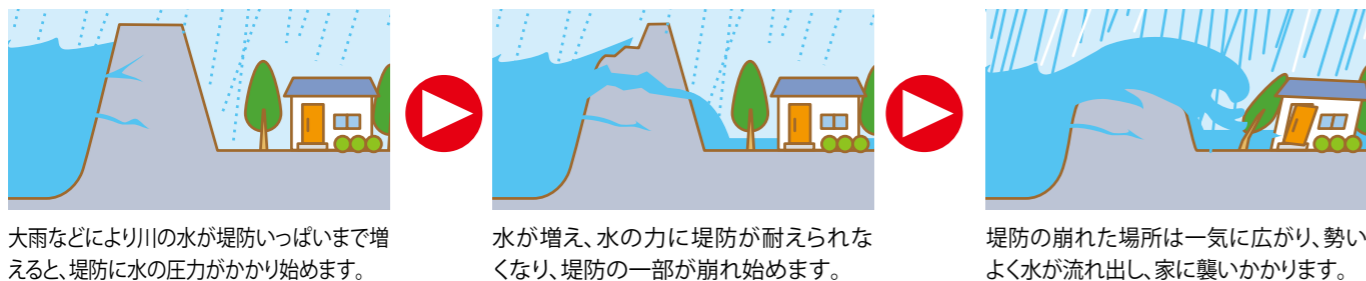
- 洪水・土砂災害 P1-P4
- 津波 P5-P10
- 浸水 P11-P12



お問い合わせ先
 危機管理防災局 防災課 TEL.025-226-1143
 中央区 総務課 TEL.025-223-7064

【水害のシナリオ】

洪水発生仕組み 洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。



大雨などにより川の水が堤防いっぱいまで増え、堤防に水の圧力がかかり始めます。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。

堤防の崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

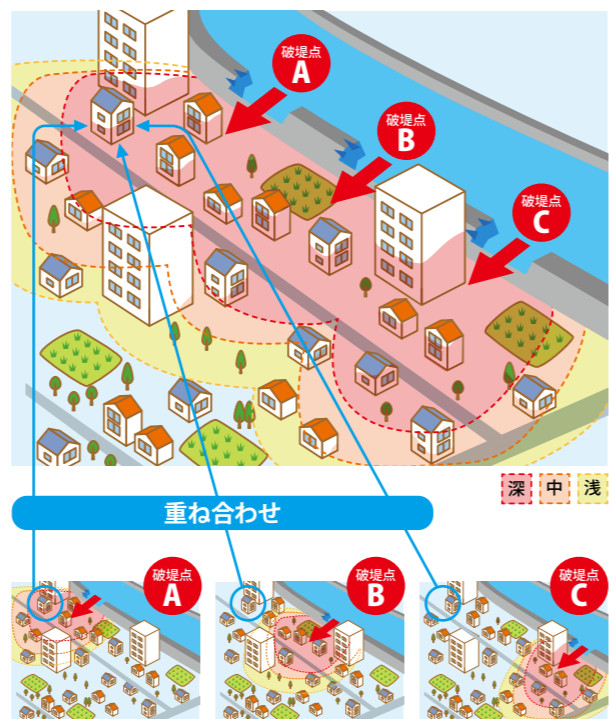
シミュレーション設定条件、降雨規模

想定最大規模・計画規模の降雨となった場合、設定河川以外の小川も同時に氾濫するおそれがあります。市からの避難情報や気象情報に注意して適切な避難行動を取ってください。

設定河川	想定雨量	影響のある区
加治川(加治川水系)	15時間 460mm	北
新井郷川・新井郷川分水路・福島湯・他(阿賀野川水系)	48時間 271mm	北
太田川(阿賀野川水系)	24時間 353mm(山地)・300mm(平地)	北
安野川(阿賀野川水系)	24時間 353mm(山地)・300mm(平地)	北 江
阿賀野川(阿賀野川水系)	48時間 382mm	北 東 中 江 秋
早出川(阿賀野川水系)	48時間 809mm	中 江 秋
通船川・粟ノ木川(下流)	24時間 198mm	東 中
信濃川(信濃川水系)	48時間 633mm	東 中 江 秋 南 西 西蒲
粟ノ木川(上流)・鳥屋野湯・鳥屋野湯放水路(信濃川水系)	48時間 285mm	東 中 江
小阿賀野川・能代川(信濃川水系)	24時間 731mm	東 中 江 秋
東大通川(信濃川水系)	1時間 48.12mm	秋
五社川(信濃川水系)	1時間 61.7mm	秋
西川(信濃川水系)	24時間 198mm	西
新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路(新川水系)	36時間 260mm	南 西 西蒲
鷺ノ木大通川・西大通川(信濃川水系)	48時間 271mm	南
中ノ口川(信濃川水系)	48時間 633mm	南 西 西蒲
木山川(新川水系)	36時間 260mm	南 西蒲
飛落川(新川水系)	36時間 260mm	西蒲
矢川(信濃川水系)	24時間 147mm	西蒲

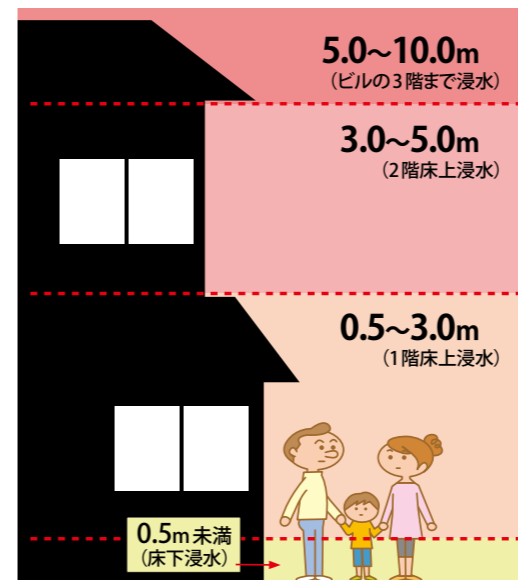
洪水浸水想定区域の考え方

全ての破堤点(堤防が決壊すると想定した箇所)について、どう氾濫し、浸水するか、それぞれの箇所で氾濫解析シミュレーションを行い予想しています。



マップに示した想定は、全ての予想結果を重ねあわせた最大の区域と深さを表示しています。実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がります。

【浸水が想定される区域における避難行動】



氾濫流 家屋倒壊等氾濫想定区域

堤防が決壊等が発生した場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

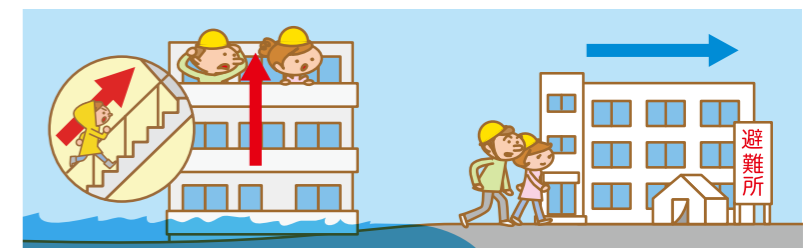
河岸侵食 家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

状況に応じた避難行動

【水平避難と屋内安全確保】

洪水が予想される場合は、早めに浸水想定区域の外側の避難所等へ避難することが基本です。避難所への避難がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所へ避難しましょう。すでに避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。



【早期立退き避難】

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にある、または浸水深が建物の最上階の床の高さを上回る場合は、早期の立退き避難が必要です。

【浸水継続時間が長い区域】

浸水継続時間が長い地域ではライフライン(電気・ガス・上下水道・電話など)の復旧には時間がかかり、生活するのは困難になります。しばらくの間自宅に戻れないことも考慮した上で早めの避難を心がけてください。河川ごとの浸水継続時間は、下記の河川管理者のホームページで確認することができます。

新潟県内の浸水想定区域図ホームページアドレス

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kasenkanri/1233086526002.html>



【気象庁からの気象情報(注意報・警報)】

注意報

大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

洪水注意報

大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

警報

大雨警報

大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には、大雨警報(土砂災害)、大雨警報(浸水害)、大雨警報(土砂災害、浸水害)のように、特に警戒すべき事項が明記される。

洪水警報

大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられる。

特別警報

大雨特別警報

大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。大雨特別警報には、大雨特別警報(土砂災害)、大雨特別警報(浸水害)、大雨特別警報(土砂災害、浸水害)のように、特に警戒すべき事項が明記される。

【雨の降り方と周囲の状況】



傘をさしてもぬれる。車のワイパーを早くしても見づらい。

道路が川になる。歩くのは危険です。

傘はまったく役に立たなくなる。マンホールから水がふき出す。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。経験したことがない大雨

【土砂災害の種類と前兆現象】

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって斜面が崩れ落ちる。

前兆現象

- がけからの水がにこる
- がけに亀裂が入る
- 小石がばらばら落ちてくる



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される。

前兆現象

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 急に川の水が濁り、流木が混ざっている

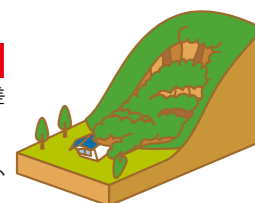


地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する。

前兆現象

- 地面に亀裂、段差ができる
- 樹木が倒れる
- 斜面から水がふき出す



中央区 新潟柳都・寄居中学校区

200 0 200 (m)



この洪水・土砂災害ハザードマップは、各対象河川の浸水想定区域図を重ね合わせて作成しているため、浸水区域が重なる地域については、浸水深の深い方を表示しています。各河川の浸水想定図は、市のホームページ(P14参照)にて確認することができます。

No.	指定避難場所	阿賀野川	信濃川	土砂災害
1	北部総合コミュニティセンター	-	2階以上	-
2	日和山小学校	-	全階可	-
3	新潟柳都中学校	-	全階可	○
4	二葉コミュニティハウス	-	全階可	○
5	旧豊照小学校体育館	-	-	-
6	新潟小学校	-	全階可	-
7	寄居中学校	-	全階可	-
8	寄居コミュニティハウス	-	全階可	-
9	教育相談センター	-	全階可	○
10	クロスハビルいがた	-	2階以上	-
11	白山小学校	-	全階可	-
12	白山コミュニティハウス	-	全階可	-
13	鏡淵小学校	-	全階可	-
15	新潟中央高等学校	-	-	-
16	新潟商業高等学校	-	-	-
17	白新コミュニティハウス	-	-	-
18	関屋小学校	-	-	-
28	万代長瀬小学校	2階以上	2階以上	-
29	宮浦中学校	2階以上	2階以上	-
30	万代市民会館	2階以上	2階以上	-
31	南万代小学校	2階以上	2階以上	-
32	総合福祉会館	2階以上	2階以上	-

No.	一時避難場所	阿賀野川	信濃川	土砂災害
B	万代公園	利用不可	利用不可	-
K	水戸教公園	利用可	利用可	-
L	西大畑公園	利用可	利用可	-
M	白山公園	利用可	利用可	-
S	旧二葉中グラウンド	利用可	利用可	-

No.	広域避難場所	阿賀野川	信濃川	土砂災害
V	西海岸公園	利用可	利用可	-

表の見方 ※表の見方については、裏表紙の「指定避難所・指定緊急避難場所一覧」を参照してください。

浸水深 3.0~5.0m 0.5~3.0m 0.5m未満

- 指定避難所 ● 一時避難場所・広域避難場所
- 市役所・区役所・出張所 〇 消防署・出張所 〇 警察署・交番・駐在所
- 洪水時危険箇所(道路冠水が想定される箇所) ◆
- 急傾斜地の崩壊
- 中学校区境界 - - - - 行政区界
- 主要な道路

地震が起こったら直ちに避難!!

活用1 津波のおそろしさを学ぼう **活用2** 津波からの避難路を考えよう **活用3** 津波避難を体験しよう

この津波ハザードマップを活用し、津波についての基礎知識を身につけましょう。

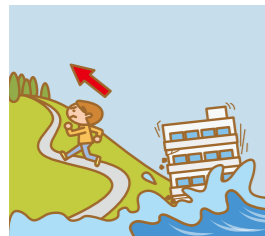
この津波ハザードマップを用いて、自宅・学校・職場からの避難経路を考えましょう。

安全な場所まで避難する訓練を実施し、実際に身体をつかって試してみましょう。

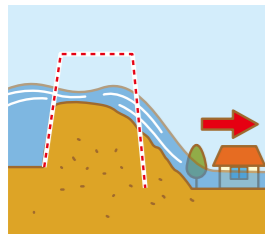
【津波による4つの地域特徴】

沿岸・沿川地域 緊急避難地域

津波警報を待たずに、直ちに高台や避難ビルへ避難!



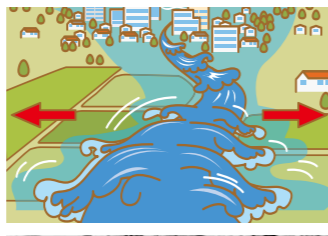
沿岸・沿川は、津波襲来までに時間的余裕がありません。津波の情報を待たずに、すぐに高台や避難ビルに避難しましょう。
沿岸地域：津波の力が非常に強く、建物などの構造物を破壊する力を持ちます。海岸では土地が高くとも、津波が勢いよく押し寄せ、被害が出る可能性があります。



沿川地域：地震の揺れによって、堤防等が倒壊し、津波の発生前でも、河川からの浸水が発生します。続いて、津波が河川を遡上(せじょう)し、強い力で堤防を破壊し、被害が、さらに拡大する恐れがあります。

河川遡上地域 早期避難地域

河川沿いから直ちに離れて! 高台や避難ビルに避難!



河川遡上地域では、早期避難が必要です。できるだけ川から「遠く、高く」へ避難してください。
津波は、海岸域だけでなく、川を駆け上りながら、河口から遠く離れた内陸の沿川地域にまで甚大な被害を与えます。これが「津波の河川遡上(せじょう)」です。

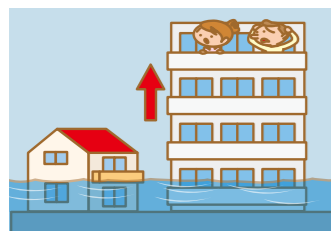


信濃川を遡上する津波
昭和39年新潟地震 新潟地方気象台提供

川沿いから1キロ以上離れた場所でも、河川遡上の影響を受けます。また、船・木材などの漂流物が逆流し、思わぬ破壊力を持ちます。

低平地浸水地域 長期浸水地域

高台や避難ビルなど堅牢な建物(コンクリート造)の高層階に直ちに避難!



宅地、田畑、ビニールハウスが水没している様子(道路から見た状況)

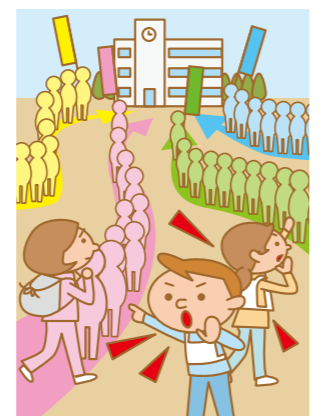


津波による低平地浸水 平成23年東日本大震災 宮城県亘理町

低平地浸水地域では、地震発生直後から移動を開始し、津波被害が及ばない地域まで避難することが理想的です。海岸から比較的離れた地域においても、河川を逆流してきた津波の浸水が広い地域で起こります。一度浸水すると、自然に排水されず、長期の浸水状況が想定されます。逃げ遅れると、長期の浸水(たんすい)により、避難生活が長期化します。

避難者受け入れ地域

津波浸水地域外の人は避難者について受け入れを準備!



避難者受け入れ地域では、浸水が想定される地域からの避難者を受け入れ、避難生活を支える等の支援が期待されます。避難所、地域の住宅・建物に避難者の受け入れ準備をしてください。
津波による浸水の影響がないことが想定される地域です。しかし「想定外」の地震災害発生により、浸水の危険が全くないわけではありません。十分に注意してください。

【津波の前には地震がやってくる】

地震のゆれによる建物倒壊



新潟県提供

地盤液状化により傾いた建物



火災による被害

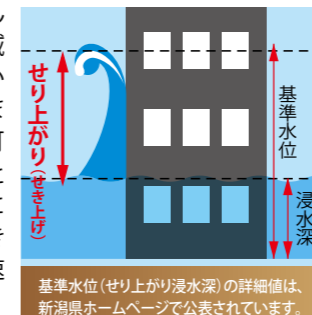


昭和39(1964)年新潟地震では、津波襲来の前にこのような被害が発生しています。これらの状況にも注意しながら、津波から避難をしましょう。

【津波についてもっと知ろう】

津波のさらなる脅威「せり上がり(せき上げ)」とは…

津波が地域に侵入した際に、建物等に衝突し、想定水位(浸水深)より「より高く、より威力をもって、襲いかかる」ことが知られています。これを「津波のせり上がり(せき上げ)」といいます。「4つの地域区分図」の凡例(はんれい)を確認し、住んでいる地域が「せり上がり」の危険性が高いかどうか確認する必要があります。なお「せり上がり」が起こる可能性のある箇所は、範囲がたとえ狭くても、津波の威力はさらに甚大となり、深刻な事態を引き起こす可能性があります。より速やかな避難行動が不可欠です。

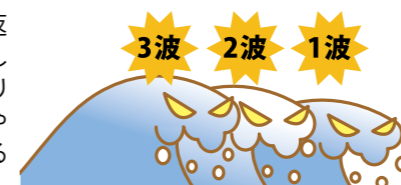


基準水位(せり上がり浸水深)の詳細値は、新潟県ホームページで公表されています。

●基準水位とは/津波災害警戒区域において、避難施設や特別警戒区域内の制限用途の建築物に制限を加える際の基準となる水位。

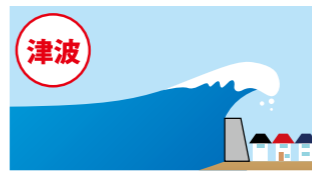
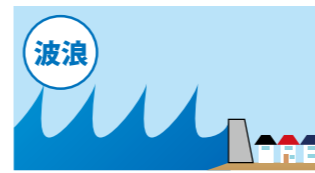
2波、3波と繰り返す

津波は二度三度繰り返してきます。必ずしも第1波が最大とは限りません。津波注意報や津波警報が解除されるまで注意しましょう。

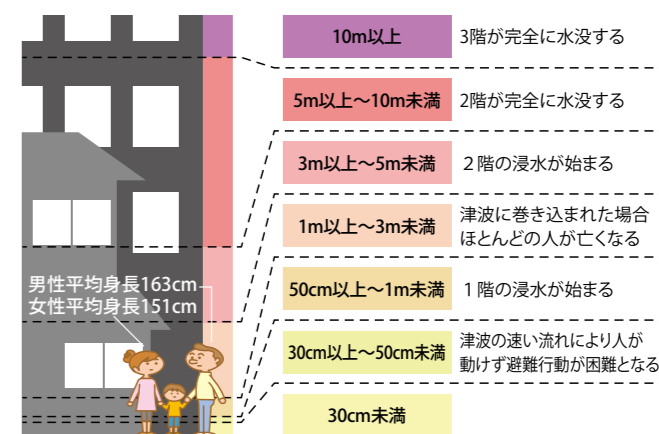


恐るべき津波の破壊力

津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までの全ての海水が巨大な水のかたまりとなって海岸に押し寄せ、その破壊力はすさまじいものとなります。また、引き波も長時間にわたって引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



津波による最大浸水深の目安



津波の流れが速い場合は、浸水深が浅くても歩けなくなります。

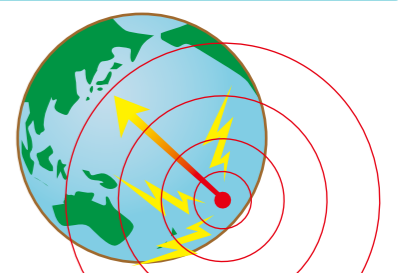
沖合いはジェット機、陸上はオリンピック選手なみの速さ

津波を確認してからでは、間に合いません! ゆれや津波警報が発表されたら、避難を始めてください。津波は沖合ではジェット機速度に匹敵し、陸上ではオリンピックの短距離走選手なみの速さです。人が走って逃げ切れるものではありません。



外国で起こる地震にも注意しましょう(遠地(えんち)津波の発生)

日本ではゆれを感じなくとも、外国で起きた地震が、津波の被害を発生させることがあります。海岸や川沿いに出かけるときは、ラジオを持って行きましょう。



津波に関する情報に注意を!

状況は刻々と変化します。いったん安全を確保してから、情報の入手につとめましょう。

津波警報・注意報とは…

気象庁では津波による災害の発生が予想される場合に、大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。沿岸部での地震では、津波が警報の発令より早く到達することがありますので、ご注意ください。

予報の種類	予想される津波の高さ/数値での発表			巨大地震の場合の表現*
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	10m (5m<高さ≤10m)	5m (3m<高さ≤5m)	巨大
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)			高い
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)			(表記しない)

※マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。

情報の入手方法は…

沿岸部・河口部に設置された「屋外スピーカー(同報無線)」、「緊急速報メール(地震・津波)」が受信可能な携帯電話・スマートフォン、災害時に自動受信が可能な「緊急告知FMラジオ」その他、テレビやラジオ

新潟柳都・寄居中学校区周辺 津波浸水想定図 (津波による浸水の深さ)

この津波ハザードマップは、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、新潟柳都・寄居中学校区周辺の浸水の深さ、津波避難ビルなどを示したものです。
新潟市に襲来が予想される最も影響の大きい6津波断層モデル(『F30(秋田・山形沖)』『F34(県北・山形沖)』『F35(佐渡北)』『F38(越佐海峡)』『F42(佐渡西方・能登半島北東沖)』『長岡平野西緑断層帯])を選定し、メッシュ単位で津波断層ごとの計算結果を重ね合せ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。

東日本大震災の教訓をふまえると、想定以上の災害が起こる可能性が有ります。
白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

大きな揺れを感じたら津波に注意!! 大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

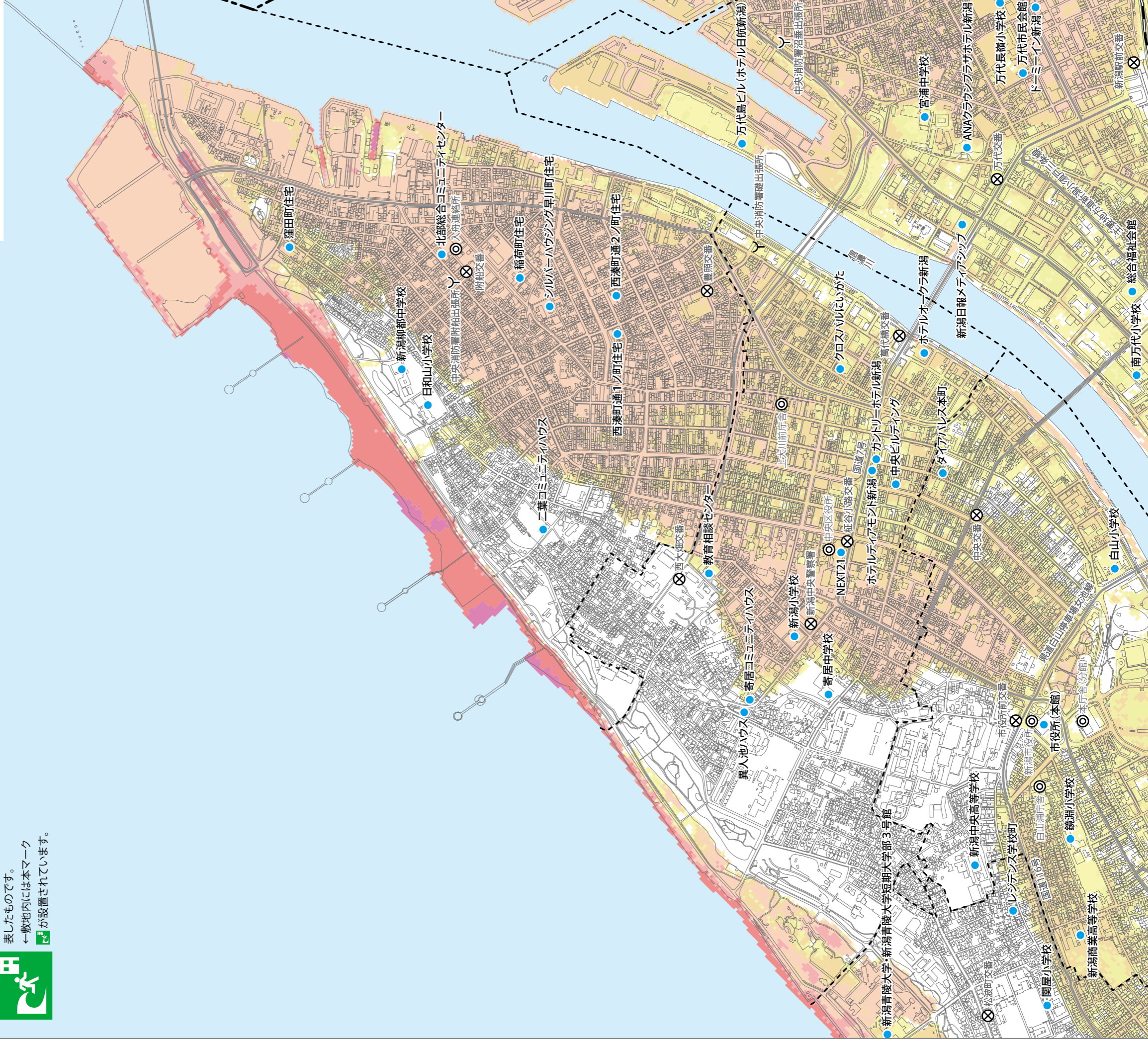
凡例 新潟県津波浸水想定 (H29年度)

- ～0.3m 未満
 - 0.3～0.5m 未満
 - 0.5～1.0m 未満
 - 1.0～3.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 10.0～20.0m 未満
- 津波避難ビル
 - 主要な道路
 - 市役所・区役所・出張所
 - 消防署・出張所
 - 警察署・交番・駐在所
 - 中学校区境界
 - 行政区界

・4つの地域区分図も合わせてご確認ください



●は、津波避難ビルを表したものです。
←敷地内には本マークが設置されています。



新潟柳都・寄居中学校区周辺

4つの地域区分図

(津波が到達する時間別)

この津波ハザードマップは、新潟柳都・寄居中学校区周辺の津波到達・浸水開始時間により4つの地域に区分し色分け表示したものです。赤色の「沿岸・沿川地域(緊急避難地域)」は、津波襲来までに時間的余裕のない地域です。黄色の「河川遡上地域(早期避難地域)」は、早期に避難することが必要な地域です。青色の「低平地浸水地域(長期滞水地域)」は、一度浸水すると自然に排水されにくく、浸水状況が長く続くことが想定される地域です。薄緑の「避難者受け入れ地域」は、津波による浸水の影響は想定されていませんが、浸水が想定される地域からの避難者を受け入れ、避難生活を支える等の支援が期待される地域です。白囲みの「せり上がり」地帯は、より「強い勢い」の津波が襲来するため、地震発生後すぐに避難行動を開始してください。

東日本大震災の教訓をふまえると、想定以上の災害が起こる可能性が有ります。薄緑の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

大きな揺れを感じたら津波に注意!! 大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

凡例

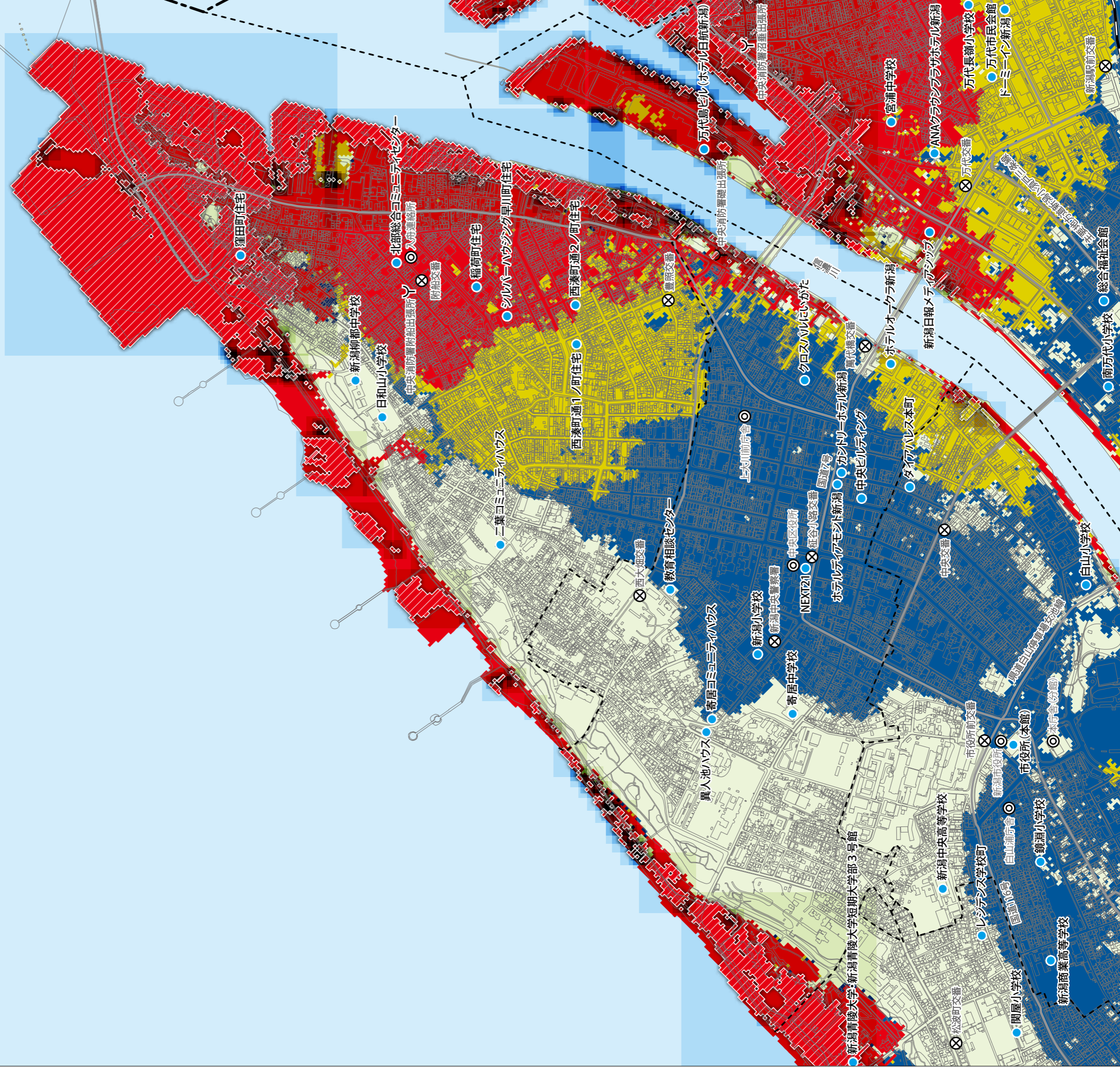
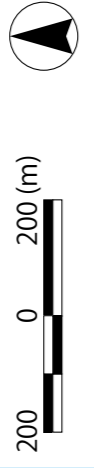
新潟県津波浸水想定(H29年度) この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第886号)

- せり上がり地帯 (浸災~30分未満)
- 沿岸・沿川地域 (浸災~30分未満)
- 河川遡上地域 (30~120分未満)
- 低平地浸水地域 (120分~約7日後)
- 津波避難ビル
- 主要な道路
- 市役所・区役所・出張所
- 消防署・出張所
- 警察署・交番・駐在所
- 中学校区境界
- 行政区界

※せり上がり地帯とは、「せり上がり」が10cm以上発生する範囲を示したものです。この地帯では、「より高く」「より強く」津波が襲いかかることが想定されます。なお「せり上がり」地帯がたとえ狭くても、津波の威力は大きいので、より速やかな避難行動が不可欠です。

津波浸水想定図も合わせてご確認ください

- は、津波避難ビルを表したものです。
- ←敷地内には本マークが設置されています。



新潟柳都・寄居中学校区

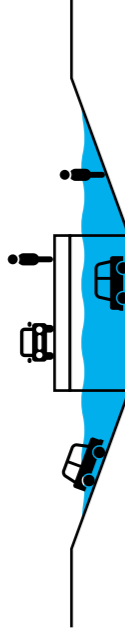
- 想定条件**
- 1) 想定している降雨の規模は、これまでに新潟市で観測された最大の降雨平成10年8月4日降雨(時間最大雨量・97mm:新潟観測所)であり、浸水被害をもたらした降雨です。
 - 2) 下水道施設の排水能力は平成23年度末時点のものです。
 - 3) 河川水位は、氾濫しない範囲での計画高水位を想定しています。
 - 4) 想定を超える大雨が降った場合や、河川のはん濫等は考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこの図より大きくなる可能性があります。

凡例

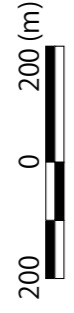
- 80～100 cm
- 60～80 cm
- 45～60 cm
- 30～45 cm
- 10～30 cm
- 0～10 cm

冠水の恐れのある主なアンダーパス箇所

アンダーパスとは、道路及び鉄道の立体交差部で掘り下げ式になっている道路(周りの地盤よりも部分的に低くなっている道路)で通行止めになる箇所もあります。



- 避難所
- ⊙ 市役所・区役所・出張所・出張所・連絡所
- 対象区域
- ⚡ 消防署・出張所
- ⊗ 警察署・交番・駐在所
- 主要な道路
- 中学校区境界
- 行政区界

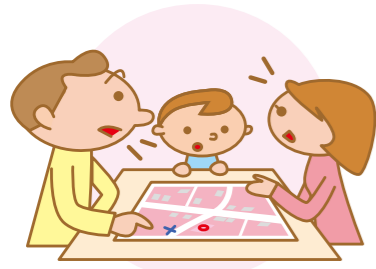


この浸水ハザードマップは、平成27年作成の浸水想定図に最新の地形図を重ねて表示しています。土地利用の変化(造園工事等)などにより浸水状況が変わる可能性がありますので、注意してください。

災害に備えた 事前の心構え

避難場所や避難路を 事前に確認

家族が別々に避難することも考えられます。前もって連絡先や集合場所を決めておきましょう。



普段から地域での 助け合い活動を

お年寄りや身体の不自由な方など、自ら避難することが困難な方もいます。普段から気配りをしましょう。



地域の避難訓練に 参加しましょう

自治会等の避難訓練に参加しましょう。訓練の際には、ハザードマップを活用しましょう。



災害発生時における 避難の心構え

正確な情報収集と 早めの避難

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどから最新の気象情報等に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。



動きやすい服装と 集団での避難

持ち物はリュックで、手は自由に。長靴ではなく運動靴で避難しましょう。単独での避難は事故にあったとき非常に危険です。避難するときは複数で行動しましょう。



自力で避難する ことが困難な方へ 可能な範囲で協力

隣近所で声をかけ合いましょう。また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に可能な範囲で協力しましょう。



車での避難は 控える

車での避難は渋滞を招き、緊急車両の妨げになります。また、道路冠水などにより動けなくなるおそれがあります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



【避難情報の種類・説明】

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する方(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
・その他の人は避難の準備を整え、以降の防災気象情報などに注意しましょう。



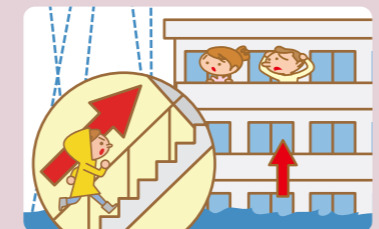
避難勧告

・災害による被害が発生する可能性が高まっています。
・速やかに避難所へ避難をしましょう。
・外出することで危険性が高まる場合は、屋内のより安全な場所へ避難しましょう。



避難指示(緊急)

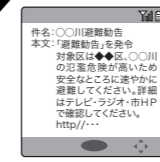
・災害が既に発生している又は、発生危険が非常に高まっています。
・避難をしていない方は、ただちに避難所へ避難してください。
・外出することで危険性が高まる場合は、屋内のより安全な場所へ避難しましょう。



【避難情報等の伝達、入手方法】

にいがた防災メール

にいがた防災メールとは避難情報など、災害に関して緊急を要する情報等をメールでお知らせします。全市域に関するメールのほか、ご希望により、自宅や職場などがある区に関するメールのみを受取ることができます。

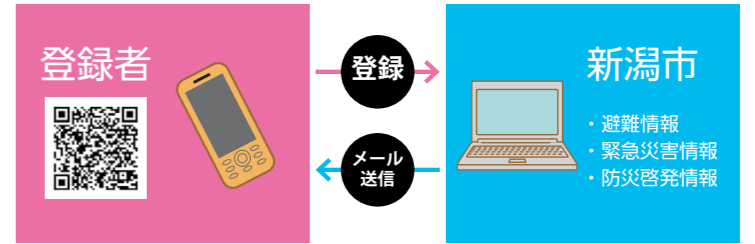


【にいがた防災メールで配信される情報】

- 1 避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告及び避難指示(緊急))
- 2 災害等に関し緊急に配信する必要がある情報
- 3 防災啓発に関する情報

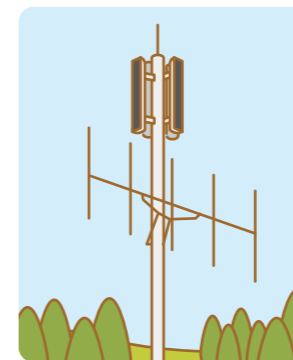
にいがた防災メールへの登録

登録サイト(PC)
<http://service.sugumail.com/niigata/member>
登録サイト(携帯)
<http://www.city.niigata.lg.jp/mobile/anshin/saigai/bousaimailmobile/index.html>
携帯サイトへのアクセス対応機種の方は右記の二次元コード(QRコード)をご利用ください。



防災行政無線

屋外に設置されている子局のスピーカーからサイレンや音声により、市民の皆さまに緊急情報や避難情報などをお知らせします。



緊急速報メール・エリアメール

災害情報や避難情報などを配信エリア内の対応携帯電話に一斉配信します。登録は不要です。対応機種などは、各通信事業者にお問い合わせください。



他のハザードマップは市のホームページに掲載

新潟市ハザードマップ紹介ページ
https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bosai/hinanjo/kouzui_hinanchizu/index.html

- ・地区別防災カルテ
- ・津波ハザードマップ
- ・洪水ハザードマップ
- ・浸水ハザードマップ
- ・道路冠水想定箇所
- ・土砂災害ハザードマップ
- ・ため池ハザードマップ
- ・液状化しやすさマップ
- ・なだれ危険箇所マップ
- ・浸水実績図



にいがた防災アプリ

スマートフォン・タブレット端末向けに災害時に役立つ機能を持ったアプリを無料ダウンロード配信しています。

最寄の避難所方向表示機能

現在位置から見た避難所の方向を視覚的に表示します。

周辺のハザードマップ表示機能

現在位置からみた災害時(洪水・土砂災害・大雨浸水・道路冠水)の危険箇所を表示します。
※防災アプリは計画規模の雨量を想定した洪水ハザードマップを掲載しています。



App Store Google Play



【対応機種】
iOS端末・Android端末タブレットやスマートフォンのアプリダウンロードストア(App store・Google Play)から無料ダウンロードできます。